



▲左から小松教諭、天内さん、菅野さん、加藤さん、按田町長



▲児童・生徒玄関前で落成を祝いテープカットを行う関係者

「新たな学び舎完成祝い」 豊頃小中併設校舎落成式と見学会

3月16日（土）、豊頃小学校・豊頃中学校併設校舎落成式が開かれました。
令和3年度から4年度で、老朽化が進んでいた豊頃中学校舎を豊頃小学校の敷地に移転改築し、令和5年度には、豊頃小学校舎の内装改修やエアコン設備の新設などの工事を行い、最後に両校を渡り廊下で接続。両校舎とも2階建てで、児童・生徒玄関や調理室、家庭科室、図画美術室などは共用となっています。

落成式で按田町長は、「子どもたちには、この新しい校舎のように新鮮で大きな夢を持って、沢山の友達とともに学び、ともに遊び、たくさんのおいしさをこの校舎で作っていただきたい。豊頃小学校、中学校の歴史と伝統を受け継ぎ、この新しくなった併設校舎とともに新たな歴史を開いてほしい」と式辞を述べました。両校を代表して、豊頃中学校の伊藤校長は、「豊頃小学校、豊頃中学校は廊下でつながるが、つながるのは廊下だけではなく、先生たちの心、子どもたちの心もともにつながる学校を、報德のおしえを大切にしながら目指したい」と挨拶しました。

落成式の後半では、本工事に携わった各施工業者に按田町長から感謝状が手渡されました。落成式終了後、オープニング・セレモニーとして、児童・生徒玄関前でテープカットが行われました。按田町長は「PTA、そして地域の皆さま、

先生の皆さまに協力していただき、この学校を盛り上げていただけるとありがたい。4月から児童・生徒が笑顔でこの校舎に通う姿が目に見え、と挨拶、関係者らがテープカットしたのち、校舎一般見学会が開かれました。見学会の参加者は、新しく生まれ変わった豊頃小学校と豊頃中学校を存分に見学していました。
なお、豊頃中学校旧校舎については、令和6年度中に解体する予定で、思い出がたくさん詰まった校舎とのお別れ見学会が、4月28日（日）の10時から16時まで行われます。中学時代を懐かしむ機会として、ぜひご参加ください。



【右】完成した豊頃小中学校併設校舎
【右下】多目的・図書コーナー
【下】図画美術室



全国大会出場

アイスホッケー・スピードスケートで活躍！

2月20日（火）、アイスホッケーとスピードスケートでそれぞれ全国大会に出場した豊頃中学校の選手が、按田町長に結果報告をしました。

1月25日～28日に東京都で開催されたアイスホッケー大会では、天内琉伍さん（2年）が全十勝BチームでFWとして出場、ベスト8に貢献しました。2回戦目に東京都選抜と対戦し、序盤5・1でリードされ、天内選手の1ゴール3アシストの猛攻により5・5まで追いつきましたが、惜しくも5・6で一步およびませんでした。

また、2月2日～6日に長野県で開催されたスケート大会では、加藤俊祐さん（3年）が男子3000メートルと5000メートルに、菅野百さん（3年）は1000メートルと1500メートルに、按田大斗さん（2年）は1500メートルと3000メートルにそれぞれ出場しました。惜しくも入賞は逃したものの、3名ともシーズンベストの記録を残しました。

この日は、天内さん、加藤さん、菅野さんが伊藤校長、小松教諭（スケート部顧問）と訪問しました（按田さんは欠席、別日で取材したコメントを記載）。

アイスホッケーの天内さんは「焦ってミスが続いた。とても悔しい。来年は帯広市開催で、滑り

なれたホームリンク。優勝を目指したい」と今回の大会の報告と来年に向けた抱負を話しました。スケートの加藤さんは「初の全国大会。出場できたのは、周りの先生や仲間と一緒に練習してくれたおかげで、みんなには感謝しきれない」と感謝の気持ちを話し、同菅野さんは「結果は悔しかったが、高校でもスケートを続ける予定なので頑張りたい」と話しました。同按田さんは「ハイレベルな人たちとレースができて、とても勉強になった。来年は入賞できるように夏から頑張りたい」と感想と抱負を話しました。

彼らのこれからの活躍に注目していただき、豊頃町として一層の応援をよろしくお願ひします。



▲按田町長に報告する選手ら